

4.職員の人材育成

地域農業の発展に寄与できる職員の育成

◆営農相談員の資格取得奨励

職員の知識向上とスキルアップを目指し、農家に対し生産に関するアドバイスを担当する営農相談員の資格取得を奨励しました。

◆農業金融プランナー・農業経営アドバイザーの資格取得奨励

農家の資金ニーズに的確に対応するため、JAバンク農業金融プランナーの資格取得や、農業の特性を踏まえた経営アドバイスができる農業経営アドバイザーの養成を新たにすすめています。



資格保有者数

	平成29年度	平成30年度（1月末）
営農相談員	81人	81人
農業金融プランナー	45人	65人
農業経営アドバイザー	3人	19人

5.組合員とJA役職員との徹底した議論

意思反映に向けた話し合い（組織対応）

◆組合員組織の意見をJA運営に反映

組合員組織の意思反映の機会として行政単位で地域運営委員会、地域運営協議会を開催しています。支店単位では地区運営委員会を開催しています。

また、青年部の代表者および女性部の代表者とJA役員との意見交換会を開催し、組織活動の充実に向け意見を交わしました。

6.地域農業応援団化の取り組み

農業を応援する准組合員の拡大

J Aあいち知多は、地域農業の振興と組合員の皆さまの暮らしを守るために取り組みをすすめています。准組合員には、農業に対する理解を深め、農業のファンとなっていただくことで、地域農業応援団化をすすめています。

◆JA事業や活動への参加を呼びかけ

農業・産業まつりや支店まつりなどのイベントを通して、農業・JA事業の理解促進に努めています。

◆産直施設の利用は地域農業の応援

広報誌、ホームページ、3ヶ月ごとに新聞に折り込んでいるコミュニティー誌、本・支店のデジタルサイネージ（電子掲示板）などで産直施設の魅力を発信し、利用促進をすすめています。

◆ふれあい農園の設置

准組合員をはじめ地域の皆さまに、農業に対する一層の理解を深めたいただくために、ふれあい農園を開設し、農に触れる機会を提供しています。



7.その他

組織リーダーの育成

平成30年度は、組織リーダー研修会や代議員研修会を開催し、JA事業理解や組織リーダーとしての役割を確認しました。



2.農業収入の増加

管内主要品目の販売力の強化

◆知多米、知多牛のPR

知多半島産農畜産物のブランド力を広く浸透させるため、「知多米」・「知多牛」ののぼりや店頭ポスターを作成しPRしたほか、金融商品の契約特典として活用しました。「知多牛」ではブランド統一を機に、PRイベントや知多牛フェアを開催しました。



◆市場外流通による販路拡大

農畜産物の販売では、多様化する販売チャネルに対応し、市場外流通に力を入れています。地元量販店・スーパーに直接納品する「地場野菜コーナー」を充実するなど地元農産物のPRに努めました。管内の学校給食での利用を推進し、地産地消の拡大を図っています。

地場野菜納品店舗数

平成28年度	平成29年度	平成30年度（1月現在）
44カ所	44カ所	40カ所

◆契約キャベツ・タマネギ等の作付推進

平成29年度から米の精算方式を全量買い取りによる一括精算方式に変更したほか、主要品目であるキャベツ・タマネギは収穫作業の省力化に向けた鉄コンテナによる契約出荷の取り扱い拡大や、作業受託による全量買い取りの検証など、販売対策を強化しました。

契約栽培による出荷量

	平成29年度	平成30年度（12月末）
キャベツ	2,041トン	464トン※
タマネギ	1,430トン	1,403トン

※キャベツについては集計途中の数字です。
収穫作業は春ごろまで継続します。

産直の活性化

◆産直指導員の配置

平成30年4月から産直出荷者の組織「産直部会」の会員に対し生産指導する「産直指導員」を各営農センターに配置し、栽培指導や栽培講習会を開催しています。産直機能の充実を図り、取扱高の増加や高品質化に向けて取り組みました。



◆産直施設のPR活動

産直施設のPRと地域農畜産物の消費拡大を目的に県下統一の「産直で買って応援！プレゼントキャンペーン」や「産直施設スタンプラリー」を開催しました。また、お買い得商品やJAカードご利用による5%割引などの情報を積極的に発信し、店舗紹介と産直の利用促進をすすめました。

産直販売高

平成27年度	平成28年度	平成29年度
831百万円	811百万円	806百万円

3.生産コスト低減

担い手農家のニーズに基づく生産資材価格の低廉化

◆低コスト資材の提供に向けた提案

肥料、農薬、資材の価格抑制に向け、銘柄集約や仕入れの見直しなどを継続的に行ってきました。仕入業者との価格交渉により、大幅な価格の抑制を進めました。肥料では対象品目を設定、大幅な価格低減を行いました。また、大型規格農薬などの提案も行いました。

大幅な値下げ品目

平成29年度	平成30年度（1月現在）
肥料 9品目	肥料・農薬・営農資材 37品目

◆予約購買や予約品の引き取り価格の設定

組合員には、予約注文や予約品の引き取りによる値引きを設定。大口利用者にはパレット単位で購入数に応じた有利な価格を設定しています。また予約決済サイトをこれまでの3ヶ月、6ヶ月に加えて最大9ヶ月を設定しました。